

十歳を祝おう

これまで10年間の自分の成長の跡を振り返るとともに、今の自分を見つめ、将来への夢や希望を抱き、よりよく生きていこうとする意欲と態度をはぐくむことができるようにする。

指導にあたって

10歳という年齢を「1/2成人式」を行うことで意味付けし、自分の将来の生き方について考える機会をもたせたい。また、4年生の終わり頃に設定することで、高学年としての自覚を促していく意味でも有効であると考えられる。

そこで、本単元では、「自分新聞作り」の活動を通して、自分自身を見つめさせ、自己存在感や自己肯定感をもたせていきたい。そして、その学習活動を受け、今後の学校生活や将来に希望を抱いて生きていこうとする意欲を高めていきたい。

しかし、将来を展望し、設計していこうとする力や思いは、一朝一夕にはぐくまれるものではない。教科をはじめ、あらゆる教育活動において、将来について考えさせる機会を、指導者が意図してもち、児童の意識を高めていくことが大切である。

単元指導計画：「十歳を祝おう」(全15時間)

時間	活動名	主な学習活動	指導上の留意点
小単元名 「成長を振り返ろう」(8時間) 【ねらい】 ・10年間の自分の成長の跡を振り返り、自分の成長を確かめ、自己存在感や自己有用感をもてるようにする。 ・友達の発表を聞きながら互いのよさを認め合い、他者の理解を深められるようにする。			
1	自分新聞を作ろう	オリエンテーション 学習活動の見通しをもつ	自分の成長の跡を、自分新聞作りの活動を通してやっていくことを確認し、学習への意欲化を図る。
1	学習計画を立てよう	1 学習計画を立てる 2 記事の内容や新聞の形式を検討する 3 記事集めの方法を考える	新聞に載せる記事の内容を考え、記事を集める方法や新聞の形式などを検討し、学習活動への見通しをもって主体的に活動に取り組めるようにする。
3	記事を集め自分新聞を作ろう	1 記事を集める 2 集めた記事を整理する 3 新聞を作成する	自分が立てた学習計画に基づいて新聞を作成するとともに、活動を通して自分の成長の跡を確かめられるようにする。
2	発表会をしよう	1 発表会の準備をする 2 発表会をする	自分が作成した新聞をもとに、発表会を行い、お互いの成長の跡を認め合い、確かめ合えるようにする。
1	活動を振り返ろう	1 発表会の感想を発表し合う 2 友達のよさについて発表し合う	これまでの活動を通して、自分の成長を確かめ、自己存在感や自己有用感をもつとともに、互いのよさを認め合えるようにする。

小単元名 「これからのわたし」(2時間) 【ねらい】 ・自己理解を深めるとともに、自分のよさを生かした将来の生き方について考えることができるようになる。			
1	自分を見つめよう	1 自分の成長の跡を確かめる 2 自分の成長を伝え合う	自分新聞作りの活動の中で感じた自分のよさや特長をとらえさせ、自己理解を深めるとともに、自分のよさを伸ばしていこうとする意欲をもてるようにする。
1	自分の将来の夢をえがこう	1 自分の将来の生き方や職業について考える 2 発表する	前時の自己理解や自分の興味・関心に基づき、将来の夢や職業、生き方について自由に思い描き、将来に対する希望や期待を抱けるようにする。
小単元名 「1/2成人式をしよう」(5時間) 【ねらい】 ・自分の将来への夢や希望、職業や生き方などについて考え、前向きに生きていこうとする意欲をもつことができるようにする。 ・式を通して、友達の発表を聞きながら、互いを認め合い、他者の理解を深めるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちをはぐくむことができるようにする。			
1	1/2成人式をしよう	1 オリエンテーション 2 式の内容を話し合う	前小単元に基づき「1/2成人式」を行い、今後の学校生活や将来の夢、生き方などについて発表し合うことを知らせ、式の内容を話し合う活動を通して意欲を喚起する。
2 (将来設計)	1/2成人式で将来の夢を発表しよう	1 発表内容の構想する 2 発表原稿を作成する 3 発表練習をする(リハーサル)	式で発表する原稿をまとめ、発表の練習をしたり、式の流れや役割分担を決めたりしながら、互いに協力し、前向きに取り組もうとする気持ちをもつことができるようにする。
1 (自己表現)	1/2成人式	式で発表する学習参観日の授業として実施することで、保護者の理解や意識の啓発にも。	将来に対する希望や期待を抱き、自分の考えをはっきりと発表するとともに、友達の発表を聞き、互いに認め合う気持ちをもつことができるようにする。
1	活動を振り返ろう	1 「1/2成人式」の感想をまとめる 2 発表し合う 3 学習活動の反省をする	自己理解や他者理解を深めるとともに、自分の将来に夢や希望を抱き、前向きに生きていこうとする意欲をもつことができるようにする。

テーマ 「1 / 2 成人式で将来の夢を発表しよう」(2 時間扱い)

授業のねらい

自分の将来に夢や希望を描き，今後の学校生活への意欲を高めることができるようにする。

キャリア諸能力との関連

将来設計能力	将来の生き方や職業に関心をもつことができるようにする。
自己理解能力	自分のよさを見付け，大切にしようとする事ができる。

授業のポイント

本学習活動では，将来設計能力の育成を目指すものである。1 単位時間の活動として育てていくことをねらいとするが，単元全体の学習を通し，より深められ，より高められていくものである。ゆえに，単元全体を見通した将来設計能力の育成を考えていくことが大切である。

準備物 原稿用紙

学習過程

段階	学習活動(: 児童の反応)	指導上の留意点と評価(《 》内は方法)
課題の意識化 (5)	<p>1 課題を意識する</p> <p>(1) 20 歳の自分の姿を予想し発表する 大学に通っていると思う。 働いている。 もう結婚している。など</p> <p>(2) 課題意識をもつ</p> <p>1 / 2 成人式で将来の夢を発表しよう</p>	<p>自由に発表させ，将来の自分の姿を思い描こうとする意欲を喚起する。</p> <p>将来の自分の生き方を考え，「1 / 2 成人式」で発表しようとする意欲を喚起する。</p>
課題の追究・解決 (80)	<p>2 発表内容を構想する</p> <p>(1) 記載しようと思う内容を，箇条書きにまとめる。 将来...になりたい。 将来...の仕事に就きたい。 将来こんな生き方をしたい。 将来は外国で暮らしたい。 わたしは...に興味がある。 ぼくは...が得意だから，それに関係した仕事をしたい。など</p> <p>(2) 内容を検討し，話の流れを決める 省略</p> <p>3 発表原稿を作成する 省略</p> <p>4 発表の練習をする 省略</p>	<p>15 分程度を目安にまとめさせる。 自分が興味・関心があること，好きなことなどを自由に書かせ，作文の材料を集めさせる。 将来の夢や希望，生き方，職業等についても考えるように助言する。 前小単元の「自分新聞作り」の学習で学んだことを生かし，自分のよさや特色等も加味して考えるように助言する。 机間支援の中で学習活動をサポートしていく。 箇条書きした内容をもとに，追加や削除をしたり，話の流れに合わせて番号を付けたりしながら大筋の流れを考えるように助言する。(10 分程度) 2 時間連続で時間が確保できない場合には，「2」の学習活動までは全員が終わるようにする。 「2」の学習が終わった段階で，順次目を通し，必要に応じて助言したり，次に進ませたりする。 出来上がった作文を発表練習しながら，自分なりに推敲するように指示する。(声を出して練習できるように，必要に応じて練習場所を確保する。)</p> <p>☑自分のよさを理解し大切にしながら将来の生き方について考えることができたか。《記録》 ☑将来の生き方や職業に関心をもって考えることができたか。《記録》</p>
総括 (5)	<p>5 教師の話を聞き，次時の見通しをもつとともに，「1 / 2 成人式」に向けて意欲をもつ。</p>	<p>次時の「1 / 2 成人式」での発表に向け，意欲と期待をもって取り組むことができるように励ます。</p>

* ☑: 将来設計能力 ☑: 自己理解能力

授業のねらい

自分の将来に夢や希望を描き、今後の学校生活への意欲を高めるとともに、自分の考えを人前で堂々と発表できるようにする。

キャリア諸能力との関連

自己表現能力	自分の考えを人前で堂々と発表することができるようにする。
将来設計能力	将来の生き方や職業に関心をもつことができるようにする。
他者理解能力	友達の考え方や心情を理解し、尊重できるようにする。

授業のポイント

前時までにまとめた原稿をもとに発表会を開く。年度末の学習参観日に合わせて実施することで、児童のみならず、保護者の進路指導に対する理解と意識を高めていくことができる。また、厳粛な式典として実施することで、価値ある貴重な経験として児童の中に生きるものになると期待できる。

学級の児童数や学年として実施する場合など、人数的な問題から扱い時数や内容など、学校の実態に応じた学習活動にしていくことが必要である。

学習過程

段階	学習活動(: 児童の反応)	指導上の留意点と評価(《 》内は方法)
課題の意識化	1 課題を意識する 自信をもって自分の夢を発表しよう	学級(30~40人)単位での発表会を想定。
	2 「1 / 2 成人式」を行う 《「1 / 2 成人式」式次第例》 (1) 開式のことば (2) 意見発表をする。 代表児童が発表をする。 代表児童は3人前後で、一人3分程度とする。 全員で発表をする。 代表児童以外が前に出て、30秒程度で発表する。 (3) 全員合唱をする。 全員合唱は2曲程度。 (4) 保護者代表のあいさつ あらかじめ1~2名の方に依頼しておく。 (5) 担任から (6) 閉式のことば	厳粛な雰囲気の中で実施できるように、会場の設定等も工夫する。 校長先生または教頭先生にも参加をお願いし、ごあいさつをいただくようにする。 式は児童が運営するようにする。 自信をもって堂々と発表できるように、事前指導の際に励ます。 原稿を見ないで発表できるようにする。 互いの発表を聞き、友達の考えを認めながら、将来の生き方や職業に関心をもてるようにする。
課題の追究・解決		<p>表人前で堂々と発表することができたか。《発表》</p> <p>将将来の生き方や職業に関心をもつことができたか。《発表・観察》</p> <p>他友達の考えを理解することができたか。《観察》</p>
総括		児童の前向きな気持ちを認め、励まし、夢に向かって生きようとする意欲をもてるようにする。 事後の学習活動における振り返りを大切に指導に当たるようにする。

* **表** : 自己表現能力 **将** : 将来設計能力 **他** : 他者理解能力